

会 議 名	平成 29 年度第 6 回板橋区資源環境審議会清掃・リサイクル部会
開 催 日 時	平成 29 年 11 月 22 日（水） 10 時 00 分から 11 時 30 分まで
開 催 場 所	板橋区立グリーンホール 2 階ホール
出 席 者	13 人 〔委員〕石垣委員（部会長）、平山委員（副部会長）、竹内委員、吉田委員、依田委員、中尾委員、皆川委員、田坂委員、戸田委員、長谷川委員 〔事務局〕清掃リサイクル課長、板橋東清掃事務所長、板橋西清掃事務所長
会議の公開（傍聴）	公開（傍聴可）
傍 聴 者 数	0 人
議 題	・板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025 の策定について 計画素案について
配 布 資 料	・板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025 素案 ・板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025 素案 概要版 ・第 5 回清掃・リサイクル部会からの主な変更点
審 議 状 況 （会議概要）	・板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025 の策定についての審議
所 管 課	資源環境部清掃リサイクル課計画調整係 TEL3579-2218

1. 開会

新井清掃リサイクル課長：皆さま、おはようございます。定刻になりましたので、第6回清掃・リサイクル部会を開会させていただきます。本日は、委員の皆さま方にはご多忙のところご出席賜りまして誠にありがとうございます。

審議に入る前に資料の確認をお願いしたいと思います。次第と座席表、こちらが机の上にあるかと思います。それと2番としまして、資料1「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025の素案」、資料2「同じく概要版」、資料3「第5回清掃・リサイクル部会からの主な変更点」、こちらにつきましては事前に送付をさせていただいております。お手元の資料に過不足等ございましたら事務局にお声掛けいただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

本日の欠席の状況でございます。本日は櫻井委員、小泉委員、手島委員からご連絡いただきまして、欠席というようになってございます。それと、申し訳ございません、事務局側なのでございますが、部長、課長、2人でございますが、ただ今別の会議に出ておりまして、ちょっと遅れる状況でございます。申し訳ございません。

続きまして、前回の議事録について確認させていただきます。第5回部会の議事録を送付させていただいておりますが、ご発言いただいた内容につきましてご確認していただき、訂正等がございましたら、今週末になります、11月24日金曜日といいましても、明日お休みが入りますので、本日と金曜日の2日間となりますが、もし何かあるようであれば事務局へご連絡をお願いいたします。

本日傍聴希望者はございませんので、このまま会議のほうを進めさせていただきたいと思えます。それでは、石垣部会長、よろしくお願いいたします。

2. 議事

板橋区一般廃棄物処理基本計画2025の策定について

石垣部会長：本日が、板橋区一般廃棄物処理基本計画2025これが正式名称になるわけですかね、これの策定にあたって皆さんに議論していただいていた清掃・リサイクル部会は、最後の開催になります。資料の審議の前に、これが最後だということを会議の最後に言って、「いや、最後だとは知らなかった」ということのないように、今後どのようなプロセスでこれが正式に答申されていくか、最初にご説明いただきたいと思います。皆さん、今日の部会はそれも踏まえてご発言、ご意見をいただきますようにお願いします。事務局のほうから簡単に説明をお願いします。

新井清掃リサイクル課長：今後の策定予定について説明させていただきます。まず、本日お示ししてございます素案についてです。本日のご審議を経まして事務局で修正し、板橋区一般廃棄物処理基本計画2025素案としまして、12月9日土曜日から12月25日月曜日までの予定でパブリックコメントの意見募集を行わせていただきます。委員の皆さまにはこのパブリックコメント時点の素案を改めまして、12月初旬になるかと思いますが、参考送付させていただきますのでご意

見等がございましたら、また事務局にお願いしたいと思っております。

パブリックコメントの結果を踏まえまして、さらに事務局で修正を行い、最終答申案を作成いたしたいと考えております。最終答申案を資源環境審議会で審議していただいたうえで、最終答申とさせていただく予定です。なお、最終答申案と最終答申につきましては3月下旬、3月20日の予定ということで今調整しているところです。こちらの開催予定の審議会で、同日での決定を予定しています。以上が今後の予定となっております。

石垣部会長：ありがとうございます。この決定プロセスに関しては特には問題がないかと思いますが、皆さまご理解いただけましたでしょうか。特にご質問もよろしいですかね。それでは、このプロセス自体は承認いただいたということで、早速本日の議題に入りたいと思います。

先ほど言いましたように、板橋区一般廃棄物処理基本計画2025の策定に当たっての今回お示しいただいている素案についての審議をいたします。前回骨子案ということでいただいていたが、いただいたご意見、第5回の清掃・リサイクル部会の結果も踏まえて、内容を追加しているということでございます。

ですので、先ほどのプロセスもちょっと踏まえまして、今回最後ということでご意見をいただきたいと思います。ただ、時間が11時半までということですので、できるだけご意見をいただく場合は簡潔にご意見をお願いしたいと思います。それでは事務局、資料についてご説明をお願いいたします。

新井清掃リサイクル課長：それでは、板橋区一般廃棄物処理基本計画2025素案についてご説明いたします。前回10月3日に開催いたしました部会で骨子案を提出させていただきました。その後、部会の皆さまをはじめとしまして、各方面からご意見を頂戴しているところでございます。それらを反映させまして、計画素案を作成したところでございます。では、資料1と資料3をご用意ください。

資料1「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025素案」でございます。1枚おめくりいただきまして、表紙の裏に目次を配置しました。右側に本計画の概要を配置しております。こちらは最終的には区長のあいさつ文が入る予定でございます。この順番等につきましては、若干変更される予定でおります。お含みおきいただきたいと思います。

それでは、2ページになります。ここで資料3をちょっとご覧いただきたいと思います。こちら3行目でございます。黒丸の1番目「計画策定の背景と目的」を本文に追記したところでございます。併せまして、本文の黒丸4番目「計画期間」でございます。こちらのほう、今まで年度の表示だけであったものを括弧書きで西暦も表示しました。これ以降本文に出てきます年度につきましては、同様な表現を追記しているところでございます。

右側の3ページでございます。右上、肩の部分でございます。こちらに章の表示を行いました。今こちらのほうは「第1章 計画の基本事項」ということで記載がございます。以後、右のページの右肩の所に各章の名称等を配置しているものです。この後は本文を中心にしまして、修正箇所を説明いたしたいと存じます。資料3につきましては、お手元に置いていただき、確認をお願いできればと思っているところでございます。

4 ページです。新たに「計画の全体像」、こちらを追加させていただきました。

5 ページです。右側「区の計画」の中、こちらは濃い網掛けの所です。こちらに上位計画との関係を分かりやすく記載させていただいたところです。

それで、申し訳ございませんが、ここで誤植があります。8 ページになります。第 2 章の始まりでございます。最初の黒丸「国内外の動向」という所でございます。下から 2 行目、最後の部分でございます。「災害廃棄物対策のスキー物関連計画」と書いてあるので、申し訳ございません「スキームの」でございます。「ム」がカタカナで、ひらがなの「の」で、「スキームの関連計画の改訂が行われました」というような表現でございます。

続きまして、11 ページになります。こちらは図 5 ですが、こちらは 29 年度の数字を追記しているところです。併せまして、下の図 6 でございます。こちらにつきましては、今まで 1 月 1 日付の人口数値を使っていたものでございますが、上と合わせまして 10 月 1 日付の住民基本台帳の数字に変更させていただいたところです。

続きまして、14 ページでございます。こちらにつきましては、清掃事業の沿革を記載しました。平成 12 年 4 月の清掃事業の移管から平成 29 年 10 月の粗大ごみ・事業系ごみ手数料の改定まで主な経過を記載させていただいているところでございます。

16 ページになります。図 12 です。上の部分にございます集積所回収の古紙、ペットボトル、こちらのほうに「選別・保管」を矢印の真ん中辺に追記させていただいております。

ちょっと飛びます。29 ページの一番上です。「ア 区民の認知状況」でございます。こちら最終行に、子どもの頃からの環境教育の課題を追記させていただきました。本日、手島委員はお休みでございますが、第 5 回の部会の時にも手島委員から、学校での日常的なごみの分別についてお話がございました。その件につきましては教育委員会に確認して、その報告をさせていただきたいと思います。

教育委員会に確認しましたところ、日常的なごみの分別については、教室には燃やすごみ、燃やさないごみの 2 つのごみ箱を設置している。ごみ捨て場に持っていった際に、改めて分別を行う。ごみ捨て場には用務主事がおまして、間違っていないかチェックをしているというお話をいただきました。学校によってちょっと異なるんですが、分別例としましては段ボール、紙、産廃、金属、プラスチック、生ごみ、燃やすごみ、電池、紙パックというような形で細かく分けているというようなお話をいただいたところでございます。また、日常的な清掃活動につきましては学校によって異なりますが、週 3 回から 5 回、教室や廊下、その他特別教室の掃除を行っているというお話でございました。

それでは、また資料 1 に戻らせていただきます。37 ページになります。表 6 でございます。「区で収集しないごみ」、こちらの下から 3 段目、ちょうど真ん中でございますが、家電リサイクル法対象品を追加させていただいております。同じく表 7・8 でございます。こちらは今年の 10 月 1 日で料金等の改定をしたところでございます。それぞれの表の一番下に米印でその旨改定したので追記しているところでございます。

続きまして、40 ページです。表 14 とその下の図 19 でございます。平成 28 年度の実績を追記しています。併せまして、上の表 14 でございます。こちらにつきましては、左から年度を含めて 4 列目に、収集運搬に直接関わる正規職員の定数を追記しているものでございます。

42 ページの中段でございます。「エ 水銀など有害物の適正処理」、こちらの真ん中辺りに「なお」書きがございます。こちらの「なお」書きで、終了年度を明確に記載したものでございます。従前は「なるべく早い時期に」というような表現でございましたが、こちらの表現に改めさせていただきます。

45 ページになります。本文の 4 行目でございます。「板橋区スマートシティ推進方針の策定等」、こちらの追記をさせていただきました

46 ページになります。こちら左の列は基本方針でございます。こちらの 4 番「PDCA サイクルによる計画の進捗管理」の部分の説明文でございます。最後のセンテンス「各取組は、毎年度評価・点検を行い、公表します」、こちらを追記しました。3 枚ほどおめくりいただきまして、52 ページになります。第 5 章の所のリード文でございます。こちらの最後の所にも同じように「各取組は、毎年度評価・点検を行い、公表します」この 2 カ所を追記させていただいているものです。

それでは、申し訳ございません、47 ページのほうにお戻りいただきたいと思います。ここで従前ではいきなり目標値、計画目標を記載しておりました。今回、目標までのプロセス、具体的には「(1) 指標の設定」、その下でございます「(2) 現状のまま推移した場合の推計」、こちらは図 20 でございます。この図 20 につきましては、このまま何もしないと、ごみ量も減っていきませんが、資源量も減っていってしまうというものです。

それでは、48 ページになります。まだまだリサイクルできるものを資源に回す。計画目標設定のイメージということで、記載をさせていただいたところでございます。そして、これらを踏まえまして計画目標を示すというような形で、下のほうに記載させていただいているところでございます。申し訳ございません。これも私共のミスプリントでございます。この下の表の中の左にございます説明文でございます。「1 人 1 日あたりごみ量」と記載がございますが、これは指標 1 と同じように「区民 1 人 1 日あたりの資源・ごみ量」というような形で訂正させていただきたいと思っております。こちらを合わせまして、資源・ごみ量の内訳をグラフの中にも黒い網掛けと白い部分ということでお示しさせていただいているものです。

それで、この部分につきましては、これらを含めてページがちょっと増えた関係で、ちょうど右のページに 91 グラムの関係のコラムが記載できるようになりました。これで私共の今度新たに目標とする計画目標と、それに対する 91 グラム、あと 598 グラムといったものが見やすくなったと思っているところでございます。

続きまして、第 5 章です。53 ページでございます。資料 3 は、裏面に移らせていただくものでございます。各個別計画です。網掛けの重点的取組施策を上に掲げさせていただきました。これに伴いまして、次ページ以降の各個別の取組の順番を入れ替えさせていただきました。併せまして、括弧書きで重点的取組というような表示をさせていただいているところでございます。

59 ページまで飛ばさせていただきたいと思います。59 ページ下半分でございます「取組の指標」でございます。こちら下から 2 段目の濃い網掛けの「資源の回収量」の一番右側の「めざす方向性」という所でございます。従前はハイフンで記載させていただいておりましたが、上向き矢印に変更させていただきました。

これは、ちょっと戻ってしまうんですが、47 ページの先ほどご説明しました、何もしないと、

このままの状況でいくと、ごみの量も減ってまいります、併せまして、資源も減っていったまうというところがございます。48 ページの一番下の計画目標でございます。自然減をするところではございますが、資源につきましては増加させる、増やしていくというようなことがございますので、先ほどの 59 ページの下から 2 段目の資源の回収量は増加ということで、上向きの矢印に変更させていただいたところがございます。資源の量、「紙パック」「紙箱・紙袋・OA 用紙」、それとトレイ・ボトル類、こちらまだまだ資源化できると考えておりますので、そのような形で上向き矢印というふうに変更させていただいたところです。

60 ページになります。真ん中よりちょっと下の部分でございます。「(4) 拠点回収の実施」でございます。丸の 2 番目に小型家電リサイクル法に関する記述を追加させていただきました。

続きまして、66・67 ページでございます。個別の施策に (2) としまして「不適正処理の防止」を追加させていただいたものです。併せまして、右のページも同じように、不適正処理の防止ということで項目を出させていただいています。

73 ページをお開きください。ここから第 7 章ということで資料編をお付けしてございます。これは従前別冊でお示したこともございましたが、今回一体化させていただきました。併せまして、84 ページ以降に用語集を付けさせていただいているものでございます。

ちょっと戻っていただいて、77 ページでございます。上段の「① 人口推計」でございます。こちら 2 行目の後ろのほうにございます「人口ビジョンに基づき直線補間で算出」と記載をさせていただいております。従前はラグランジュ補間法を使いまして計算しておりましたが、緩やかに数字を持っていくというようなものだったのですが、ちょっと分かりづらい面もございましたので、直線補間法というように改めさせていただいております。なお、この方法に変更することによりまして、目標値への影響等はございませんでした。

それと、申し訳ございません、こちら資料 3 の裏面の下から 2 段目の人口推計方法の変更内容でございます。変更内容の 1 行目、「ラグランジュ補間法から直線補完に変更」の「補完」の「完」でございます。これは「完了」の「完」ではなくて「間」という字が正しいでございます。

資料 1 の説明は以上です。続きまして、資料 2 の概要版を説明させていただきたいと思います。

資料 2 をご覧いただきたいと思います。今回部会が最後ということでございます。今まで概要版ということでは具体的にお示しをしておりませんでした。本編の他に概要版を作成しまして一緒に発行というようなことを考えておりますので、概要版の構成等につきましてご説明申し上げたいと思います。

まず 1 ページ目です。「一般廃棄物処理基本計画とは」ということで、本編の 2 ページ辺りから始まるものでございますが、内容につきましては 3 ページの「策定の背景と目的」、それと 5 ページの「計画の位置づけ」という所からを引用しているものです。「計画期間」につきましては、同じく 6 ページの部分、図表込みで記載のあるものでございます。一番下にございます「対象地域・対象廃棄物」という所で、こちらは前後してしましますが、3 ページの所に、本編では 2 つの項目に分けて記載してございますが、概要版は一括して記載させていただいています。

2 ページでございます。「第三次計画の進捗状況」ということで「重点施策の取組状況」ですが、本編 24 ページからそのまま引用しているものです。

3 ページです。「第三次計画の数値目標の達成状況」ということで、本編 25 ページからのもの

を記載しているものです。内容的には同じもので、コメント等を若干簡素化しているものがございます。

4 ページでございます。こちらは本編の 27 ページからの記載になります。各項目を出しまして、全部で 4 つ「普及啓発の取組課題」「発生抑制の取組課題」「資源の分別・リサイクルの取組課題」「ごみの収集運搬・中間処理・最終処分等」という所で、本編のほうの表題とは若干変わっているところもございますが、分かりやすくさせていただいているものがございます。それぞれ本編のほうは「取組状況」と、それに伴いまして「取組課題」という所でございますが、表記は「取組課題」ということで一括させていただいています。

5 ページでございます。本編で言いますと 45 ページからの部分でございます。「基本理念・目標」という所でございますが、「基本理念・基本方針」も従前の形で簡素化させていただいているものです。下の「2 計画目標」につきましては、48 ページの一番下の表をそのままこちらに持ってきているものです。申し訳ございません、左のほうの説明文「1 人 1 日あたりごみ量」を、先ほど申し上げました「区民 1 人 1 日あたりの資源・ごみ量」に修正させていただきたいと思っております。

6 ページになります。これは本編の 52 ページ以降です。「ごみ処理基本計画」ということで、5 つの計画ということで、こちらは項目だけ記載させていただいているものがございます。

8 ページでございます。下段の部分「6 生活排水処理基本計画」、これは本編の 70 ページでございます。71 ページの「生活排水処理の現状」、それと 72 ページの「生活排水処理基本計画」から引用させていただいているものがございます。説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

石垣部会長：ありがとうございます。駆け足でのご説明になりましたので、皆さんちょっともう一度気になるところを見返していただきながら、内容をご確認いただければと思います。その間に私から先に簡単なところだけちょっとお聞きしたいと思っております。内容については私は問題ないんですが、編集上のところというか、確認いただきたいところなんです。

1 つは、年号の件ですね。年号というか、年数ですか。西暦と和暦を併記してというのは、これはこの計画内に年号が変わることも想定されていますので、行政文書でそういうことを考えられるのは非常に良いことだと私は思います。もちろん平成をなくすわけにはいきませんので、これで結構だと思うんですが、未来のみでいいのかということです。未来の年号だけでいいのかですね。

今のところ、これ以降の年号だけが、平成だったら平成 30（2018）になっているんですけれども、例えばもう年号が変わってしまうと、「何とか 3 年」とか「何とか 4 年」になっていくわけですね。そうすると、平成 29 年は一体何年前だとすぐ分からなくなると思うんです。できたら、これは過去の年号も全部西暦も併記していただくといいかなと思います。

今は平成なので、それを全部書くとうるさいように見えると思うんですけれども、多分年号はもうあと 2 年後には変わってしまう予定ですので、そうすると西暦がないとすぐ分からなくなると思うんですね。そういうこともあって、できたら過去の年号もそうしていただきたいなということです。もし「いや、やっぱりちょっと作業も大変なので未来だけ」ということであれば、そ

うはいっても今も過去のものにも少し西暦がくっついていたりとか、やっぱり未来の年号で変わっていないものもありますので、その辺はもう一度よく見直していただいて、統一していただくようにしていただければいいかなと思います。それは編集上のことです。

それから、あとはもっと細かいんですが、27 ページのことですが、環境教育の所ですね。「イ」という所で、これはなぜ今まで気付かなかったのかなと思うんですが、「区内全保育園・幼稚園・小学校」というのは私立小学校とかも含めてということですかね。

新井清掃リサイクル課長：はい。

石垣部会長：本当に全部なのですね。抜けがないかということだけです。「全」と言っちゃって本当に大丈夫ですかということです。私立小学校は多分区内に1校しかないような気もするんですけども。

新井清掃リサイクル課長：申し訳ございません。今、保育園・幼稚園につきましては、私立の保育園・幼稚園のほうにもお声掛けしているところでございますが、小学校につきましては、区立の小学校だけというふうな。

石垣部会長：そうですか。

新井清掃リサイクル課長：私立の小学校もございます。

石垣部会長：そうですね。だから、書き方はちょっと考えられたほうがいいかなと。区内の全小学校と言うのではなくて、区立小学校とさえいいかなと思うのです。

新井清掃リサイクル課長：この前の部分に「区立」を付けるなり、きちんとした正確な表現に。

石垣部会長：そうですね。私立小学校の方が、傷つきはしないと思うのですけれども、「ちゃうやんけ」と言う人がいるかもしれません。

それと、まだあって、67 ページですけれども、「(2) 不適正処理の防止」ですね。67 ページ、「(2) 不適正処理の防止」という所で、「廃棄物処理法に基づく一廃収集運搬許可」と書いてあるのですけれども、この文書上で一般廃棄物を「一廃」と一度も略していないと思うのです。略するのであれば一般廃棄物（一廃）と書いてもいいですけれども、あるいは、もっと前の段階で一廃と言ってもいいですけれども、それは言葉としては正確に使われたほうがいいかなと思います。

もう1つ最後は、ちょっと戻るのですが、42 ページですが、これは編集なのか内容なのか確認いただきたいのですが、「エ」の水銀の所で「東京都の埋立処分場では、廃蛍光管等の埋め立ては平成31年度末をもって終了することになっています」と。ここも未来だけれども西暦が付いていないですが、それはさておき、平成31年度末をもって終了するというのは、それは確かに事実としてはそうなのでしょうけれども、ここの肝というのは、これだけ見ると、「あれ？　じ

やあ、廃蛍光管はどうなるの？」ということになってしまうので、どちらかというと、廃蛍光管から水銀を回収というのか除去というのか、処理をした上で処分するとか、何かそういう水銀をきちっと回収するプロセスを入れることが多分肝のような気がします。

事実としては、埋め立てはしないのだというのは、それは間違っていないでしょうけれども、多分読まれる区民の皆さんの関心はまた違うところに行ってしまうような気がします。そういう部分の説明を少し丁寧にされると、安心して読めるかなという気がいたしました。私は細かいところばかりだったのですが。じゃあ、どうぞ。

長谷川委員：最後になりますので、ちょっと細かな点ですが。この 10 ページの所で、東京都の動向の真ん中の所に、「もったいない」が東京都の動向のコラムのような形であると思うので、ちょっと細かいですが、2020 年の到達点という中で、3 つ目の丸で「事業系廃棄物の 3R ルールづくり」とあるのですけれども、正確に言うと 2020 年の到達点というのは、「持続可能な資源利用」に取り組む企業・団体が増加というような、そのところが到達点の文言ですが、でも、「事業系廃棄物の 3R ルールづくり」というのはその 1 つでしかなくて、それ以外のいろいろな取組によって「持続可能な資源利用」に取り組む企業・団体が増加しているという状態、これが到達点ということであって、端的に言うと、要は「事業系廃棄物の 3R ルールづくりによる」というのを消していただいたほうが正確かなと思います。これだけではないので。

あと後ろ側が「団体」で切れているけれども、「が増加した」という状態、これが到達点ということになりますので、そこがないので修正していただきたいなと思います。実行プランと呼ばれるこの冊子の 220 ページに書いてありますので、その文言を参考に直していただきたいなと思います。

あと 2 つほどですが、これはご判断が、あるいは私共の読みの不足で誤解しているだけなのかということなのですが、61 ページに「(8) 生産・流通事業者の責任に基づくリサイクル制度の整備」というのがございまして、ここで「発生抑制と同様にリサイクルについても」という記載があるのですが、この「発生抑制と同様に」と、あえてここを書いている理由というのは何かおありになるかどうかということです。純粋に言えば、日本語上は別にこれがなくても一応通じる中で、あえてこの「発生抑制と同様に」というふうに言う理由があれば、そのままでいいかと思うのですけれども、一見読んだ時になくてもいいのではないかなと。「発生抑制と同様に」という文言がちょっと印象を持ったので、全体の文脈とかの中でご判断いただければなと思います。

それからもう 1 つが、64 ページの (2) の「事業系ごみの減量・資源化」うんぬんとある所で、これの 2 つ目の丸に「事業用大規模建築物の再利用計画書に基づく」うんぬんというのがありますが、ここのパーツというのは収集運搬計画のことが書いてあるということになると、だから、「再利用計画書に基づく」うんぬんというのは何か収集運搬計画の話というよりは、再生利用促進計画の話とか、あるいは発生抑制計画とか、2 番目、3 番目のそちらの内容のように読めてしまったので、そこもやはりここにあえて書く何か文脈上の理由があれば、それでいいと思うんですが、ちょっと印象としてそのように受け止めて申し上げました。以上です。

新井清掃リサイクル課長：今 3 点いただきました。2020 年到達点というところでは、またちょっと適正な表記に変えさせていただきたいと思います。また、その時点でご相談等に乗っていたらというふうに思っているところでございます。

2 点目でございます。61 ページの (8) の「発生抑制と同様に」という所で、私共のほうとしては、リサイクルの前としまして発生抑制のほうも力を入れていきたいということでございまして、このような表記にさせていただいたところでございます。もう少し適正な分かりやすい表現があれば、そのように変えたいと思いますが、一応私共としましては第一義的にはそちらを考えていきたいと思っているところでございます。

3 点目の 64 ページの (2) の「事業系ごみの減量・資源化」等でございます。こちらにつきましては、すいません、すぐここで答えられないですが、ちょっと検討させていただければと思います。ありがとうございます。

石垣部会長：皆さま、いかがでしょうか。

竹内委員：すいません。概要版の 5 ページの区民 1 日あたりの資源・ごみ量が平成 27 年度より 13.3%減。それが本案の 48 ページのほうの 13.2%と違いがあるんですが。

新井清掃リサイクル課長：申し訳ございません。同じものでございますので、数字を合わせさせていただきたいと思います。すいません。今すぐ 13.3 が正しいのか 13.2 が正しいのか、申し訳ございません、今ちょっと計算させていただきますので、これは正しいほうに合わせさせていただきます。

石垣部会長：他はいかがでしょうか。どうぞお願いします。

吉田委員：64 ページの「(1) 水銀含有廃棄物の回収ルートの確立」ということですが、今現在も水銀の体温計とかここら辺を出すやり方は一応決まっていますよね。確立というのか。表現を、もう確立は一応したのか、それとも違っているのか。一応はできていると思ったのですけれども。

新井清掃リサイクル課長：今こちらのほうにつきましては、不燃ごみで出していただくような形になっております。それで、もちろん体温計ですとか、あとは昔の血圧計なんかはかなり水銀が含まれております。それは不燃ごみでお出しいただくというようなことで皆さま方に周知しております。それを集めまして、私共のほうでも適正な処理する所に運び込んでいるというような状況でございます。ただ、やはり中には可燃のごみに出してしまう方もいらっしゃるようで、清掃工場関係が水銀の数値がどんどん上がってしまうというような状況も今年の 5 月に板橋清掃工場でもございまして、その原因が何だかはちょっと分からないのですが、やはり水銀の数値が上がったということで停止をしているところでございます。その辺につきましては、きちんともっと皆さま方にも周知していきたいと思っているところでございます。

石垣部会長：今のところはよろしかったですか。

吉田委員：確立はされているかなと思いました。

石垣部会長：「確立し」という所は、確かに。

新井清掃リサイクル課長：すいません。追加のところでございます。確立というところでは、やはり普通の不燃ごみで出すだけでなく、何かイベント等があった場合にはそういう所でも回収するなど、これは以前部会長さんからもお話しいただいたような内容でございますが、そういうような集める方法は通常の部分以外でも、何かそういうようなイベントの時に特別にという、おかしいですが、持ち寄っていただくというような周知等もして新たな部分を考えていきたいというふうに思うところでございます。

石垣部会長：今水銀を含有している製品そのものというのはあまり市中に出回っていないので、ほとんどが退蔵しているものということになるかと思うんですが、乾電池なんかもそうですね。なので、回収を促進する施策というか、そういうことを積極的にやっていく。これはずっと排出が続くようなものではないと思いますので、そういうことも含めたような文章にさせていただくいいのかなと思います。

新井清掃リサイクル課長：ありがとうございます。

石垣部会長：他はいかがでしょうか。資料1でも資料2でも、どちらでも構いません。いかがでしょうか。どうですか。

少し気が早い話かもしれませんが、これはどういう配布というか周知ということをするか。要するに、概要版は、どういう形で誰向けにどういう媒体でお配りしたいとか、目に触れるような形にするのかとか、この本文というか、実際の計画本体のほうはどのようなお配りの仕方をするとか、その辺の話がもし可能でしたらお願いします。

新井清掃リサイクル課長：まず、こちらのほうの概要版と本編でございます。こちらにつきましては、印刷関係も行うわけでございますが、申し訳ございません、そんなにたくさん皆さま方各家庭にお配りするような感じではございません。そこまでの印刷はできませんので、私共のほうも最終的に出来上がりましたらデータでいただきますので、その段階でホームページ等にも貼り付けさせていただいて、そこからダウンロードとい場合もございます。

もちろん概要版等につきましては、庁内をはじめとしまして関係先に配布するのと同時に、清掃事務所をはじめとしまして、窓口でもお配りできる準備をさせていただきたいと思っております。積極的に各家庭に1部ずつとか、そういうものではございませんので、部数的にも制約がございます。

石垣部会長：そうはいつでも、概要版のほうが少し皆さまの目には触れるような、そういう行政窓口に置こうということですか。そこに差がないのであれば、あまり概要版を作る意味もないかという気がします。

新井清掃リサイクル課長：そうですね。できる限り、区民の皆さま方がおいでになるような場所については、協力を仰いで設置していただこうと思います。

石垣部会長：板橋区のアプリみたいなやつからも見られるようにするとか、そこまでは考えていない。

新井清掃リサイクル課長：その辺につきましては、申し訳ございません、まだどういうふうな構成になるかも分かりませんし、アプリ自体もちょっと今財政当局のほうの調整をしている状況でございます。いずれにしても、これだけ大きなものをどんと載せるので可能かどうかというのも含めまして、検討させていただきたいと思います。

石垣部会長：本体のほうは無理しなくてはいいですよ。せっかく概要版を作ったので、これが見やすい形でいろんな方に目に触れるといいなと思った次第です。

新井清掃リサイクル課長：分かりました。

石垣部会長：皆さん、いかがでしょうか。

吉田委員：10 ページの（4）の 23 区。10 ページですね。「一部事務組合の動向」というのが、一番下に、「区民向けリーフレットを配布する」と。これは水銀ですよね。ここと区と、リーフレットの中身というのは同じような形にしていくなのですかね。別でやっぱり考えていくのですかね。

新井清掃リサイクル課長：東京二十三区清掃一部事務組合は清掃の関係の所です。こちらは主に中間処理というところを担っているところでございます。その中で清掃工場もここが所管しているものでございまして、その部分でのリーフレットということで、東京二十三区清掃一部事務組合で作っている状況でございます。もちろん、これは 23 区全部同じような形で配布しております、私共のほうの窓口でも配布しています。例えば「ごみれば」というところがございまして、こういったものに全部いろいろな清掃工場のことですとか、埋め立ての関係ですとかも一連の流れとして触れているような状況でございます。この他にも細かいリーフレット等もあるとは思いますが、私共のほうとリンクして板橋の内容を盛り込むとか、そういうのはなかなか難しい面がございます。

吉田委員：逆に、水銀のそういうところの部分を実は区の方に、啓発の中に取り入れるようなことはできるのですか。

新井清掃リサイクル課長：この「ごみれば」というのも、お願いすれば私共のほうに部数がある程度まとまった形でいただけるような状況ではございますが、内容につきましてはやはりこちらのほうがいいものはありますので、こういうものは引用していきたいとは思っているところでございます。

石垣部会長：いかがでしょうか。最初の頃に申し上げたのか、前回申し上げたのか覚えていないですけれども、時代に合ったそういう配布とか資料の見せ方みたいなものがあるといいと思います。ここで例えば区民向けリーフレットを配布するとあったときに、もしその区民向けリーフレットというのが電子版で事務組合さんのホームページとかどこかにあるのであれば、例えばそういうリンクを付けておくとかですね。紙だから関係ないですけれども、インターネット上でファイルを見るような方は、そのままぼちっと押したら、それが見られるといいというか、多分そういう時代になっていますので、そういう作業はできたらしていただくと。

行政文書というのは、慣れていれば掘り起こして見つけるのはまだできるのですけれども、慣れていない方というのは本当に区のホームページを最初見ただけで、もう諦めちゃうような方もいらっしゃると思いますので、できるだけ、せっかくこういう目に留まるものがあつたら、そこからもうワンストップで行けるようなことになっているといいのかなと。いろんな所に散逸しているような文書も、できるだけたくさんの方に目に触れていただくという意味では重要かなと。そういう時代に合った出し方というのも、今回予算のこともありますので難しいかもしれませんが、常に念頭に置いていただけるといいかなと思います。

新井清掃リサイクル課長：ありがとうございます。今、部会長さんがおっしゃったような形で、今までは本当に紙ベースで、それを全部そっくり持ってこなければいけなかったのが、本当に1秒だけでクリックすれば、そちらのほうできちんとしたものが見られるというような状況でございます。そういったものに関しましては、どんどん活用してまいりたいと思います。ありがとうございます。

石垣部会長：皆さん、いかがでしょうか。

平山副部会長：自信のあるコメントということではなくて、現場のことをよく知らないから、むしろ教えていただきたいという感じのものですけれども、特に興味がありますのは46ページの「パートナーシップで実現する循環型経済社会」というところ絡みですけど、ここに具体的に「計画の体系」で書いてあるのは全部情報発信というのが中心になっておりまして、普及啓発、情報発信。要するに、行政のほうから区民、住民に教えるというか、指示をするとか、そのようなことですが、私は板橋区の特に環境分野のお仕事というのは非常に進んでいると思っております。そうだとすると、板橋区から区民に対して何らかの指示・指導をするという一方向だけではなくて、区民からの情報をどのように吸い上げて今後の廃棄物行政に生かしていくということを考えておられるのかというのは、この計画を読む場合の区民の方にとって非常に大きな関心になるのではないかと思います。

今までどおり行政からの指図・指導だけなのか、それとも廃棄物というのは生活全般に関わってまいりますので、全ての人が関心を持っていることだと思うのですが、そういう人たちがどういう気持ちでこの制度を気にされて生活をしておられるのかという声をできるだけ吸い上げておいて、次の計画に結び付けるなり、それから、この計画のちょっとした手直しをする体制というのがあればいいのですが。これは行政の現場でそういうのはもう毎日毎日区民の方から電話がかかってくるので、わざわざそういう仕組みなどを作る必要はないというふうなことであれば、それはそれでいいかと思うのですが、そうでないのであれば、この情報発信、普及啓発のところにも何かそれに絡めて住民の意見を吸収するみたいなところを、それをそのまま実施するかどうかというのは予算、権限に絡むことであろうかと思うのですが、何かそういう余地というのがどこかにあって、この計画の中にそれが特に概要版の中にあれば、皆さん一生懸命になって考えていただけるのではないかなと思います。

私は廃棄物の行政の現場を知らないですから、どういう状況になっているのか分からずに物を言っているのですが、そこらはどのようなになっているのかというのも、できれば教えていただきたいと思います。

木村板橋東清掃事務所長：各地域に環境行動委員会ですとか、エコポリス板橋環境行動会議がありまして、そういった総会等も行われております。そういったときにはわれわれも参加させていただいて、報告等も聞かせていただくことが実際にあります。いろいろな取組がなされ、すごく地域の特性を活かした環境に対する取組というのが実際にはありますので、そういったものを参考にさせていただいております。それがお隣の地区に当てはまるというものではないのですが、そういったものの情報交換などをさせていただいたりしております。この計画の中でそういったものがあれば、もう少し関われる部分については、それができればと考えています。ありがとうございます。

新井清掃リサイクル課長：今お話しいただきました。先ほど部会長さんからもお話しいただきました。クリック 1 つで飛んでいくということもございます。今後につきましては、私共のほうも SNS ということで双方向でできる、私共だけで一方的に出すんじゃなくて、区民の皆さま方からもご意見をいただけるというような方策等も今後は考えていかなければいけない。そんな考えるところではなくて、ちょっと遅いぐらいですが、そういうふうな形で私共だけで一方的に行くというのではなく、やはり区民の皆さま方のほうも、今お話がありました地区の環境行動委員会ですとか、エコポリス板橋環境行動会議というような会議等の会議体がございます。

これは私共板橋区の場合は 18 地区に分かれておりまして、その地区ごとにそういうのを設置してございます。そういう所でも、今板橋東清掃事務所長が申しあげましたような形で、会議等の中でご意見等をいただく、そういうものもございますが、それだけじゃなくて一般的にもそのような SNS 等を活用しながらご意見をいただければというふうに思っているところでございます。また、私共も一方的にこの計画をお願いするというだけでなく、やはり板橋区としましてもいろいろな面で環境面について、リサイクルなりについて取り組んでいくということも情報発信していかなければいけないと思っていますところです。ありがとうございます。

石垣部会長：皆さま、いかがでしょうか。

中尾委員：僕は本当にとってもよくできていると思っているのですけれども。特にコラムなんかはととてもよくできていると思っております。概要版にもコラムを本当は載せてもらいたいなど。だけど、ページ数の問題といろいろあるかと思って、非常に厳しいところだと思いますが、やはりコラムというのは多くの人に読んでもらえる場所でもありますので、そういう意味では載せられないとすれば、私はやっぱりコラムのほうがみんなに分かりやすいと思うのです。そういうことを考えると、「かたつむりのおやくそく大人版」みたいなものを作っていたら、できるだけ多くの区民に「こうやれば、ごみは減るよ」とか、「こうやって発生抑制しようよ」というのをやっぱり赤塚農業まつりや区民まつりで配っていただければ、かなり効果があるのかなというふうに考えますので、ちょっとご検討していただければと思います。

それからもう1点。先ほどお話があった小学校ですけれども、板橋区の私立の小学校というのは1校しか知らないのですが、もしその1校に行けるのであれば全部でもいいような気がするので、ご検討していただければと思います。

新井清掃リサイクル課長：2点いただきまして、ありがとうございます。大評判で、確かにあのコラムは本当に自分で見ても読みやすいかなというところは。もちろん内容はもうちょっと充実とかもあるかもしれませんが、細かい字で並んでいるよりは手に取りやすいというのはあるかもしれません。その辺はもう一回調整はしますが、紙面とかページ数の関係で難しいかもしれません。

それと、「かたつむりのおやくそく大人版」。そちらのほうつきまして、ちょっと検討させていただくような形で、経費的な問題とかいろいろなのがありますので、検討させていただきたいと思います。

今お話がありました区民まつりですとか農業まつり、その他に地区まつり等もございます。私共のほうでも出展をしておりますので、そういう時に「かたつむりのおやくそく」ですとかをその中で配布していきたいと思っておりますのでございます。この部会の中でも再三全戸配布というところをお話いただいております。私共もそれに向けて財政当局と調整しているところでございますが、全戸配布までたどり着かないような現状でございます。引き続き、これは行っていきたいと思います。

小学校でございます。区内の私立の小学校は淑徳小学校1校でございます。こちらにつきましても、お声掛けを今後してまいりたいと思います。ありがとうございます。

石垣部会長：すいません、1点だけ。私立小学校は、そこに通われている子どもがみんな板橋から来ているわけではないですので、話をするときはすごく難しくなると思います。板橋ではこうですと。でも、他の「それぞれあなたたちが住んでいる所のことは、知りません」では困るので、話をするときはちょっと難しくなりますので、その辺に留意して。だから行かないほうがいいのかという意味ではないのですけれども、話はもっと大変になると思います。ただ、多分淑徳小学校さんも地域の学習というのは必ずあると思いますので、そういう中に入れていただいて、板

橋区の現状とか地域の勉強の中の1つとしてやっていただくと、比較的スムーズにいくかもしれません。

新井清掃リサイクル課長：ありがとうございます。

竹内委員：すいません。先ほどの農業まつりだとか区民まつりというお話がありましたけれども、本当に「かたつむりのおやくそく」は素晴らしいことが書いてありまして、先日も11月1日号ですか、集団回収の出し方についてという、こういうのをぜひ回覧板ではなく掲示板等に各町会に出していただけるとすごく効果的ですし、また、その掲示板のものを今度集団回収の場所に張るとかもできますので、ぜひ限られた人だけでなく、回覧板ならいけませんけれども、町会の掲示板等で出していただけると。こういうものを掲示板で周知していただくと、より効果的になると思うし、こういう計画がより実現するかと思いますので、町会としてはぜひお願いをしたいというふうに考えております。

新井清掃リサイクル課長：ありがとうございます。その辺りにつきましては、地域振興課が掲示板、回覧板関係を所管しておりますので、地域振興課と相談しながら進めてまいりたいと思います。

竹内委員：ぜひお願いいたします。

新井清掃リサイクル課長：ありがとうございます。

依田委員：うちのほうは回覧版なんて来ませんよ。

新井清掃リサイクル課長：その回覧版につきましては、集団回収を行っている団体さんの所に年2回、上期、下期でもってまとめて報奨金の関係をお送りしていますが、その中に一緒に入れているものでございまして、申し訳ございません。全体的にいろんな所に配っているものではないのでございます。

依田委員：もう1つ、私は女性の立場からみんなどちらかというと奥さん方はあまり難しいものを出してもほとんど読まないです。ですから、分かりやすい本当に先ほど言ったような、本当に簡単な「こういうふうにやらなくちゃ駄目だ」というふうなものを出していただいたほうが無駄にならないと思います。どっちかという、いろいろなものが区から来ますよね。私なんかは役をやっているから何とか見ますけれども、皆さんに聞くと、「ええ？ そんなもの来てたの？」とか、もうみんなすぐ捨てちゃうみたいですね。ですから、ちょっと表面がカラーで分かりやすい、そういうものじゃないと、どっちかという、奥さま方はあんまり見ないです。よろしくお願いいたします。

新井清掃リサイクル課長：今お話しいただきました。ありがとうございます。今、板橋区も少しずつ変わってきているのかなと。それが『広報いたばし』なんかもその１つかなというふうに思っています。今までは本当に文字だらけで、「ええ？」という感じで、皆さん手に取るかどうか。１面には大体写真は入っているのですが、なかなか文字ばかりというのが今本当に「何だ、これは」というような感じで逆に目を引くような形になっているかと思います。できる限り私共もそのような形を取り入れながら、やっていきたいと思っています。ありがとうございます。

石垣部会長：他はいかがでしょうか。いろいろ今日も貴重なご意見をいただいているのですけれども、特に内容もそうですし、それから、どうやってこれを目に触れて、それを使っていくというか、参考にしていくかというところで、割と建設的なご意見が幾つか出たと思います。それがこの素案そのものに反映されるかどうかというところだけでなく、その後の行政の中で今いただいたご意見なんかを参考に、どちらかというと「かたつむりのおやくそく」もそうですし、この計画書そのものも活用していくという意味でいろいろなアイデアをいただいたと思います。

ちょっと早いですが、皆さまからのご意見も大体出尽くしたようですので、この辺りでもまとめていただいてもいいかなというふうに思いますが、いかがでしょうか。大丈夫ですか。

吉田委員：ちょっと１点だけ。

石垣部会長：はい。どうぞ。

吉田委員：私の所は会社の前に回収する場所を設けています。そこに誰が出したか分からない粗大ごみが現状で１個出ています。そういうものは回収に来た人は紙を貼って、そのまま置いていくのですけれども、その後、どのような形でそれを処理していくのかというのが、清掃事務所に誰が電話するのとか、そういうふうなのがよく分かんないので置いたままになっていますが、その辺はどういうふうな形でいくのかと。

神田板橋西清掃事務所長：私からお答えいたします。基本的に粗大ごみは有料で回収していますので、本来は排出者責任ということで、しばらくの間は警告のシールを貼っていただいて、その場に置いておきますが、ずっと置いてあると区民の方からも連絡が来ますし、集積所であれば日々収集にでていますので、一定の期間、大体１０日から２週間ぐらいしてそのまま置いてあるようであれば、いつもの小型プレス車とは別の車両で回収をしていく形になっています。

吉田委員：その辺は何かよく分かんない部分がちょっとありまして、その辺がやっぱり「かたつむり」の中に出ているのかどうか。私も見ていないので、そのルールが分かれば一番よかったかなと思っています。

神田板橋西清掃事務所長：原則は排出者責任になります。本来粗大ごみ処理券が貼っていないものは、引き取っていただくというのが原則ですので、それを警告の意味でしばらく置いてあって

も、ある種の不法投棄になっています。そのままですと集積所の美化にも影響しますので、それはこちらのほうで回収していくという形になっています。それを逆に言うと、いつか回収しますというのを堂々と周知をしてしまうと、「じゃあ、置いてしまえばいい」という話になってしまいますので、そこは本末転倒のところもありますので、一応処理としてはそういう形でさせていただきます。

吉田委員：分かりました。

石垣部会長：じゃあ、この辺りでこの会議を締めたいと思います。今日も幾つかのご意見が出ましたが、参考にしていただいて、今後の取りまとめの作業、それからパブコメ、答申に向けてのプロセスということで進めていただければと思います。事務局にお返しします。

3. 閉会

新井清掃リサイクル課長：それでは、本日の審議内容につきまして他にご意見等がございましたら、ちょうど1週間後でございます、11月29日水曜日までに事務局にご連絡をお願いしたいと思っていますところでございます。

また、冒頭にもお話ししましたが、本日のご意見等を踏まえまして計画素案をいろいろ今の部分を修正した上で12月9日土曜日から12月25日月曜日までパブリックコメントの意見募集を行わせていただきたいと思います。

それでは、今回が最後の部会となりますので、部会長から一言ごあいさつをいただければと思うのですが、よろしくお願いします。

石垣部会長：5月からですか、半年間で6回という非常にタイトなスケジュールでしたが、その間に資源環境審議会に出ていただいた方もいらっしゃいますし、皆さん出席率も毎回非常に高く、お忙しい中時間を調整していただいて、きちんとした素案がまとまったと思います。本当にご協力ありがとうございました。

これから、これがまたおそらく修正されて、最終的に計画として世に出ていくと思いますので、今回はいろいろ皆さんから厳しいご注文もあったと思いますし、いろいろな現状を区の中で身の回りでどういうことが問題になっていると、そういうことも提案いただいたと思います。そういうことはこういう部会とか区議会場で注文をつけるというのもそうですけれども、この後実際にこの計画が世に出てからも引き続き行政の方とのコミュニケーションというか、そういうことでいろいろ提案できることは提案し、注文するところは注文しということで、引き続き、行政への皆さんの参加というか、積極的に関わっていただければなというふうに思います。

もう1つは、せっかくいいものを、これは皆さんで作り上げたと思っていますので、ぜひこの計画であるとか、あるいは、ずっと話が出ていますが、「かたつむりのおやくそく」とかもそうですけれども、皆さん自身がそのサポーターというか、1人の広報担当者みたいな形になって、身の回りで何かそういうごみのことで困っている人がいたら、「かたつむりのおやくそくという

のがあるんだよ」とか、あるいは「こういう計画ができて、こういうことが皆さんの世の中に出ているんだよ」とか積極的に触れ回っていただくといいかなと。そういうふうに少しずつ身の回りに広がっていくネットワークというの、口コミのような形がとても重要なんじゃないかなと思いますので、引き続きまたご協力というか、板橋区の行政そのものに参画しているというような意識で関わっていただければなというふうに思います。

それから、事務局の皆さんも本当にタイトなスケジュールの中で無理難題を全部聞いていただいて、立派な素案を作っていただいたと思います。本当にお疲れさまでしたといいますか、ありがとうございました。

このように皆さんのご協力で出来上がったものです。今後パブコメもありますし、資源環境審議会もありますね。その過程でまだ何度かわれわれの目に触れる機会もあると思いますし、またこれが世に出てからも、先ほど言いましたけれども、それでおしまいというわけではありませんので引き続きご意見あるいはご協力というのをお願いしたいと思います。拙い議事進行でしたけれども、皆さんご協力いただきましてどうもありがとうございました。

新井清掃リサイクル課長：ありがとうございました。それでは、委員の皆さま方におかれまして、この 2025 の策定に当たりましてご意見をいただき本当にありがとうございました。今後審議会も、まだございます。一応 3 月 20 日を予定している審議会におきましても、いろいろなご意見、ご指導等をいただければというふうに思っているところでございます。若干時間は早いんですが、以上をもちまして第 6 回清掃・リサイクル部会を閉会とさせていただきます。